

MEJ NEWSLETTER



■ MEJニュースレター発行開始

朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。皆様お変わりありませんか。さて、今月からMEJニュースレターを発行する運びとなりました。MEJからのお知らせや、活動報告、新規ご入会者様のご紹介など、可能なかぎり毎月盛り沢山の情報をお届けしたいと考えております。また、このニュースレターをきっかけに皆様によりMEJのことを知っていただければ幸いです。第1弾といたしまして、アウトバウンド委員会の分科会活動についてのご報告と、MEJが独自に行っている渡航受診者の受入実績のデータについて特集させていただきます。

■ アウトバウンド委員会 分科会活動



これまでMEJのアウトバウンド委員会の分科会は、台湾分科会、ベトナム分科会、インドプロジェクトチームと国・地域別で設定していましたが、より会員間での情報共有や相互理解を進めるために、新たに疾患別の分科会を設立しました。それが『がん分科会・循環器分科会・セルフケア分科会』の3つです。企業会員と、MEJフォーラム会員がこの分科会を通して、積極的に交流していただける場となればと考えております。

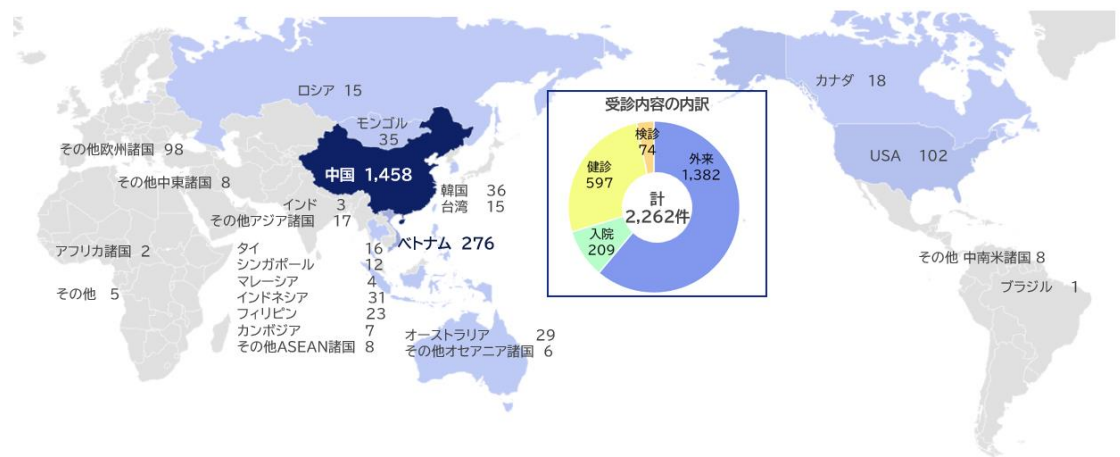
分科会への参加は随時募集しておりますので、ご希望の方はCS広報部までご連絡ください。

MEJでは、日本への医療渡航を把握するために、受入医療機関であるJIHや渡航支援企業であるAMTAC、MTFから渡航受診者の実績調査を毎年度行っています。2023年4月～2024年4月の実績結果は以下のとおりです。



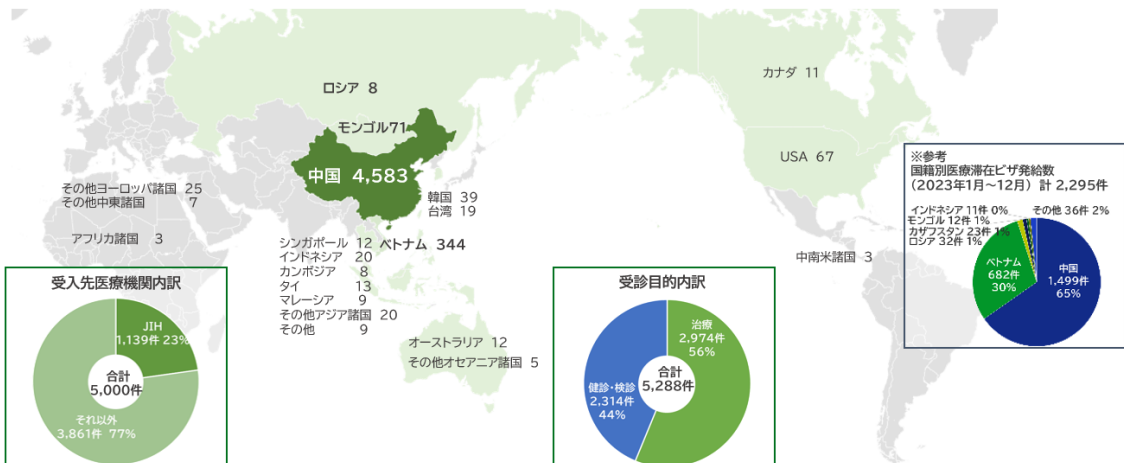
国籍別(JIH) 新規受入 合計2,262人(延べ7,360件)

渡航受診者の国籍は圧倒的に中国が多く、今回USAが多くなっているのも中国系アメリカ人の方が含まれているためと推測いたします。また、受診内容としては治療が7割を占めています。3割程度の健診・検診ですが、昨年度まではコロナ禍の影響から健診・検診がほとんどありませんでした。コロナ禍からの復調と考えられ、今後はさらに健診・検診の割合が高くなることも予想されます。



国籍別(AMTAC,MTF) 受入支援 合計5,288人

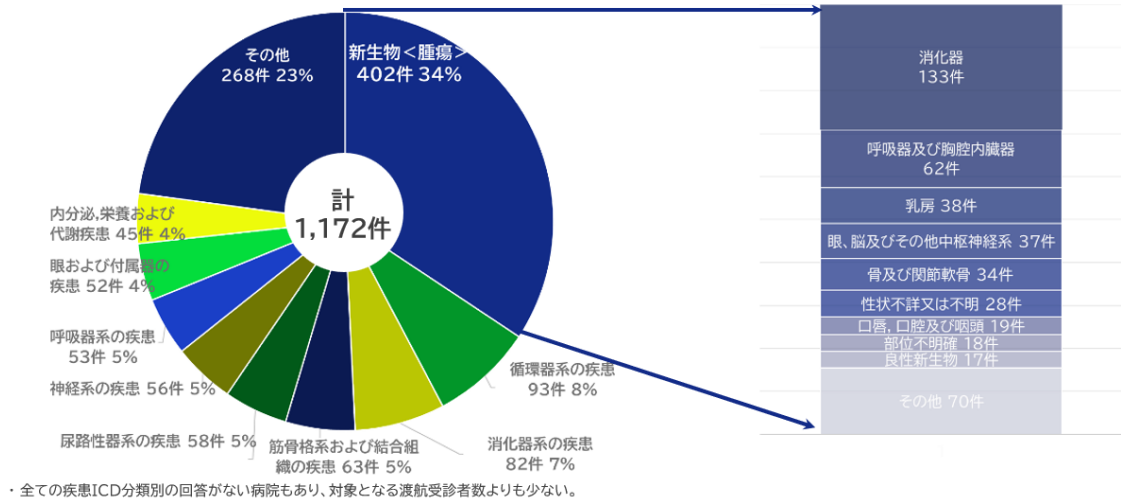
こちらも同様に圧倒的に中国からの受け入れが多くなっております。また、受診の目的も治療56%、健診・検診44%でJIH同様、昨年度から大幅に健診・検診の受診が多くなっています。



受入医療機関のJIHの割合が低いため、MEJではJIHによる勉強会を開催し、AMTAC・MTFとJIHの連携を強化していきたいと考えております。



統計開始以来、変わらず新生物が第1位となっていますが、昨年度は半数を占めていたのに対し、今年は約3割程度となり、他の疾患の割合が増えていることが見て取れます。



日本国内では、渡航受診者の統計は他になく、これらの実績報告が唯一無二となっています。調査にご協力いただいたJIH、AMTAC、MTFの皆様、ありがとうございました。

引き続き、MEJでは皆様に有効なデータを集めて発信していきたいと考えております。こんな情報が欲しい、といったリクエストも参考にさせていただきますので、お気軽にご相談いただければと思います。

■ お知らせ

9月03日 新規分科会キックオフ&懇親会

9月04日 第1回ME Thailand-MEJフォーラム会議を開催

9月10日 MTF会員向け 東京大学医学部附属病院 渡航受診者受入勉強会

9月後半 MTF会員向け コンプライアンスガイドライン勉強会

編集後記

7月より新しくCS広報部に入りました山口です。今後、ニュースレターを担当させていただくことになりました。記念すべき第1回目は、やはりMEJならではの情報を提供できればと思います。既出ではありますが渡航受診者の受入実績について特集させていただきました。次号では8月に行った渋谷理事長の企業訪問について特集いたします。今後もメールだけではお届けできない情報を会員の皆様にお届けしていきたいと考えております。乞うご期待ください。